

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業の評価について（令和5年度実施事業：評価結果の詳細）

※高松市、連携市町評価・・・A、B、C、Dの4段階評価

資料 1

連携協約項目			事業 No	事業 （取組） 名	KPI（成果目標）						高 松 市	連携市町評価						令和5年度 高松市取組実績	令和5年度 連携市町の取組実績		
					KPI	KPI説明	単 位	令和5 年度 目標	令和5 年度 実績	達成 率		令和5年度の目標設定方法及び目標値に対する 実績の理由	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町			直 島 町	綾 川 町
1 圏域全体の 経済成 長のけん引	ア	産学金官民一体となった経 済戦略の策定、国の成長戦 略実施のための体制整備	1	産学金官民 一体となった 懇談会の設 置・運営等	圏域全体の経済 成長のけん引等 に係る連携事業 数	瀬戸・高松広域連携中枢 都市圏ビジョンに掲載する圏 域全体の経済成長のけん引 分野の事業（取組）数	事業	17	15	88.2	R5年度までに、4事業を追加することとしており、計画 期間後半の4年間で2事業の追加を目指す。 15事業となったが、評価基準の総得点は90点を超 えた。	A	B	B	B	B	A	B	A	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏推進委員 会や瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョ ン懇談会等を開催し、第2期瀬戸・高松広域連 携中枢都市圏ビジョンを策定した。	【さぬき市】ビジョン懇談会等に参加した。 【東かがわ市】瀬戸高松中枢都市圏ビジョン懇談会等で産学金官民連携の懇談会に参加した。 【土庄町】高松市が中心となり、産学金官民一体となったビジョン懇談会の運営等を行った。 【小豆島町】WEB懇談会に参加。 【三木町】懇談会の設置・運営等に関し、必要な協力を行う。 【直島町】事務局会、ビジョン懇談会等に参加した。 【綾川町】ビジョン懇談会など積極的に参加できた。
			2	幅広い層が 集まる「場」づ くり事業	瀬戸・高松広域 連携中枢都市圏 ポータルサイトへの アクセス数	イベント情報を掲載する瀬戸・高松広域連携中枢都 市圏のホームページのアクセ ス数	件	5,700	11,280	197.9	H29年度実績（訪問者数）をベースに、圏域人口 （ビジョン目標）の1％を最終年度の目標とし、漸 増を目標とする。 イベント告知の影響もあり、実績値が上昇した。	A	B	B	B	B	B	C	C	連携各市町の担当者が集まる事務局会で、 事業内容について意見交換を行った。	【さぬき市】ビジョン懇談会等に参加した。 【東かがわ市】ビジョン懇談会での協議を行った。 【土庄町】瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ポータルサイトの P R 【小豆島町】WEB懇談会に参加。 【三木町】会議の設置・運営等に関し、必要な協力を行う。 【直島町】事務局会、ビジョン懇談会等に参加し、協議を行えた。 【綾川町】コロナ禍ということもあり、イベント等の開催がほとんどなかったため活用の実績なし。
	イ	産業クラスターの形成、イノ ベーション実現、新規創業促 進、地域の中堅企業等を核 とした戦略産業の育成	3	中小企業経 営力強化事 業	講習会等受講者 数	1年間に開催した講習会 等の受講者数	人	2,500	1,501	60.0	受講者数についてはR5年度行政評価の成果指標に もなっており、目標値は行政評価と同様にしている。 令和3 R3年度と比較すると受講者数は大きく増加し たものの、目標とする受講者数の達成には至らなかつ た。	C				B	B			高松商工会議所と共催で経営講習会を行 い、中小企業経営の近代化・合理化並びに 従業員の資質向上に努めた。	【土庄町】実績なし 【小豆島町】講習会開催に関する情報を町内事業者へ周知した。
			4	ブランド農産 物育成支援 事業	たかまつ食と農の フェスタにおける出 展者販売額	たかまつ食と農のフェスタを開 催し、連携市町からも出展 してもらい、地域の特産物の P R及び販売促進を図る。	千 円	10,000	9,527	95.3	事務事業評価表に基づき目標値を設定している。連 携市町参加のもと、イベントを開催し、概ね目標を達 成できた。	B	B	B	B				A	「たかまつ食と農のフェスタ2024」を開催した。	【さぬき市】たかまつ食と農フェスタにさぬき市から2団体（飯田農園、さぬきワイナリー）が出展し、特産品のPR 及び販売促進を行った。 【東かがわ市】青果卸売市場や量販店に対する表敬挨拶訪問、量販店店舗におけるPR活動を行った。 【土庄町】たかまつ食と農のフェスタに出展し、町の特産物の P R 及び販売促進が図れた 【綾川町】R6年2月24日（土）及び25日（日）に開催されたたかまつ食と農のフェスタに綾川町経済課及び 綾川町生活研究グループ、綾川町農業者団体であるアグリネット綾川育農部会が参加した。
	ウ	地域資源を活用した地域経 済の裾野拡大	5	ふるさと納税 に係る共通返 礼品の検討	共通返礼品の数	連携市町共同で圏域の地 場産品を活用した共通返礼 品を検討する。	品	6	3	50.0	共通返礼品としての特別感を感じてもらい、寄附に繋 げるためには3品程度が適切と考える。 返礼品数は目標を達成しており、圏域の地場産品の P Rに繋がっている。	A	B	B	B	B	B	B	B	既存の共通返礼品を継続して掲載するとと もに、製造終了で掲載を中止した一部の返礼 品について、内容を変更して掲載した。	【さぬき市】既存の返礼品の内容変更等を行った。 【東かがわ市】共通返礼品について、「讃岐の地酒セット」2種を新規返礼品に追加した。 【土庄町】昨年度に引き続き、共通返礼品として運用。 【小豆島町】各自治体の契約サイトに共通返礼品（地酒セットを追加）を掲載した。 【三木町】①蔵元のごだわり 讃岐の地酒セットA（さぬきワイン・小豆島酒造・綾菊酒造） ②地元のごだわり 讃岐の地酒セットB（さぬきワイン・小豆島酒造・勇心酒造） 寄附実績：0円 【直島町】既存の共通返礼品を継続して掲載する。 【綾川町】共通返礼品 1 2 品
1 圏域全体の 経済成 長のけん引	エ	戦略的な観光施策	6	誘客促進事 業観光連携 協議会等の 設置・運営	観光施設等利用 者数	市内の主な観光施設等利 用者数	千 人	7,100	5,710	80.4	【目標の設定方法】 第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年後に 達成する目標として現況値の1％増を目標に掲げて いる。 【目標値に対する実績の理由】 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行された ことから、観光施設等利用者数も感染拡大前に比べ ると少ないが、一定数回復した。	A	B	B	B	D	C	C	B	対面による協議会の開催は行わなかったが、 R4年度に開催された際に構築されたネット ワークを活用し、メールや電話による情報共 有・合意形成が図られ、連続テレビ小説「ブギ ウギ」のパネル展示を開催した。	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】協議会等の実績なし。 【土庄町】関係市町による観光振興協議会の開催 【小豆島町】取組なし 【三木町】情報収集 【直島町】観光振興協議会に参加できなかった。 【綾川町】実績なし

連携協約項目			事業 No	事業 （取組） 名	KPI（成果目標）						連携市町評価							令和5年度 高松市取組実績	令和5年度 連携市町の取組実績	
					KPI	KPI説明	単 位	令和5 年度 目標	令和5 年度 実績	達成 率	令和5年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町			直 島 町
1 圏域全体の経済成長のけん引	Ⅰ 戦略的な観光施策	7	国内誘客促進事業	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	7,100	5,710	80.4	【目標の設定方法】 第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年後に達成する目標として現況値の1%増を目標に掲げている。 【目標値に対する実績の理由】 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことから、観光施設等利用者数も感染拡大前に比べると少ないが、一定数回復した。	A	B	B	B	A	C	C	B	連携市町で連続テレビ小説「ブギウギ」のパネル展示を開催したほか、情報発信を行うことで域内誘客促進を図った。	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】瀬戸内リゾートベッセルおおちや市歴史民俗資料館で開催したNHK連続テレビ小説「ブギウギ」のパネル展を高松市役所でも実施した。 【土庄町】H P・S N Sを利用して観光情報を発信した。 【小豆島町】神戸市で開催される「神戸まつり」「Love Port Kobe みなとまつり」へ小豆島町・土庄町・高松市で連携したブース出店を行い、神戸・小豆島及び神戸－高松間の航路を活用した誘客促進を行った。（ブース来場者約2,500人） 【三木町】情報収集 【直島町】ツアーやイベントには参加できなかったため、参加した他のフェアなどでは圏内全体のPRに努めた。 【綾川町】HPやSNS、広告等で、町内の魅力を発信し、国内の誘客に努めた。
		8	海外誘客促進事業	香川県外国人延べ宿泊数	香川県内の外国人延べ宿泊者数	人	700,000	444,470	63.5	【目標の設定方法】 政府目標である「訪日外国人数を2020年に4000万人」の伸び率を上回る宿泊者数の増加を目指す。 【目標値に対する実績の理由】 高松空港が東アジア3路線を再開させ、クルーズ船の国際船の受入も再開したが、コロナ禍前の状況までには回復していない。	D	B	B	B	B	C	C	B	引き続き、高松空港と定期航路で結ばれた台北・上海・ソウル・香港からの観光客を誘致するため、公益社団法人香川県観光協会に対し補助を行った。	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】協議会等の実績なく、市単独及び東讃エリアで取り組んだ。 【土庄町】連携市町でモデルコースの検討やFAMツアーの企画、高付加価値化の連携等実施 【小豆島町】9/20 NATIONAL GEOGRAPHIC RESOLUTION寄港（約120名） 9/28 CORAL ADVENTURER寄港（約110名） 【三木町】情報収集 【直島町】企業（ベネッセ等）が誘致を推進しているので、町としては事業を展開していないが、国際線再開により多くの外国人観光客が訪れた。 【綾川町】実績なし
		9	国内外観光客向け情報発信事業	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	7,100	5,710	80.4	【目標の設定方法】 第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年後に達成する目標として現況値の1%増を目標に掲げている。 【目標値に対する実績の理由】 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことから、観光施設等利用者数も感染拡大前に比べると少ないが、一定数回復した。	A	B	B	B	A	C	C	B	情報発信事業の中で、連携都市の施設及びイベント等の情報を発信した。	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】協議会等の実績なく、市単独及び東讃エリアで取り組んだ。 【土庄町】H P・S N Sを利用して観光情報を発信した。 【小豆島町】小豆島観光協会のHPでは、小豆島2町の情報を集約し、的確な情報発信を行っている。 【三木町】情報発信 【直島町】H P・観光マップの配布などで情報を発信した。 【綾川町】電子雑誌への町内観光情報の掲載及び外国語（英語・中国語・ハングル語）版の観光パンフレットにより町内の魅力を発信し、国内外の誘客に務めた。
		10	瀬戸内国際芸術祭推進事業	-	-	-	0	0		目標値未設定	A			A	A		C		実行委員会や市内各島と連携・調整しながら、ART SETOUCHI 2023の開催と、「瀬戸内国際芸術祭2025」の開催準備を実施した。	【土庄町】作品完成式典の開催、瀬戸内国際芸術祭公式イベントの運営協力。 【小豆島町】瀬戸内国際芸術祭2025に向けて、作品展開催補地の洗い出しや圏域内も含めた交通網の整備。 【直島町】瀬戸内国際芸術祭2025関係機関との調整。
		11	新たな観光プランの企画、販売等	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	7,100	5,710	80.4	【目標の設定方法】 第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年後に達成する目標として現況値の1%増を目標に掲げている。 【目標値に対する実績の理由】 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことから、観光施設等利用者数も感染拡大前に比べると少ないが、一定数回復した。	B	B	B	B	B	C	C	A	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の観光振興のため、（公財）高松観光コンベンション・ビューローが造成する「ぶち旅プラン（着地型旅行商品）」の企画・販売事業を支援した。	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】協議会等の実績なく、市単独及び東讃エリアで取り組んだ。 【土庄町】関係市町による観光振興協議会の開催 【小豆島町】本町での取組実績なし 【三木町】情報収集 【直島町】圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】道の駅滝宮において夜間にいちご狩りを楽しむ「夜のいちご園」、うどん発祥の地滝宮でうどんの原型「饅飩」を打って食べることができる「うどんと饅飩」を開催した

連携協約項目			事業 No	事業 (取組) 名	KPI（成果目標）						高 松 市	連携市町評価						令和5年度 高松市取組実績	令和5年度 連携市町の取組実績	
					KPI	KPI説明	単 位	令和5 年度 目標	令和5 年度 実績	達成 率		令和5年度の目標設定方法及び目標値に対する 実績の理由	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町			直 島 町
1 圏域全体の 経済成 長のけん引	Ⅰ 戦略的な観光施策	12	イベント交流 の促進	まつり・イベント入 込み客数	観光客誘致に資するまつり・ イベント実行団体発表の入 込み客数をカウント	人	1,163,500	759,616	65.3	【目標の設定方法】 より効果的な周知宣伝活動により、イベント入込客 数について、5年後に1割増を目標に掲げ、設定。 【目標値に対する実績の理由】 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、入込数は目 標を下回った。	B	B	B	B	A	A	C	A	新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したこ ともあり、多くのイベントが開催され、にぎわい創 出・誘客促進が図られた。しかしながら、さぬき 高松まつりの規模縮小もあり、目標値には及 ばなかった。	【さぬき市】「ショウブまつり」「さぬき市冬のうまいもんまつり」「さぬきバル」などが開催された。 【東かがわ市】高松市及び連携市町においては実施できなかったが、市単独や東讃エリアとして取り組んだ。 【土庄町】人気アニメのイベントの開催や都市圏をはじめとする。イベントを通じて観光PRの実施 【小豆島町】・小豆島オリーブマラソン全国大会 ・第3回全国そうめんサミット ・中山虫送り ・小豆島まつり花火大会 ・水曜どうでしょうキャラバン ・ふるさと商工まつり ・ONSEN・ガストロノミーウォーキング 【三木町】10月28日に「獅子たちの里 三木まんて願。」秋大祭2023を開催し、約56,000人の来場者があつ た。 【直島町】圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】道の駅滝宮において夜間にいちご狩りを楽しむ「夜のいちご園」、うどん発祥の地滝宮でうどんの原型 「餺飥」を打って食べることができる「うどんと餺飥」を開催した
		13	デリバリー・ア ーツ事業	鑑賞者数	参加を希望される協力団体 の提供場所の規模により、 鑑賞者数に偏りがあるため、 鑑賞者数では判断しかな る。限られた予算の中で、公 演の質の維持と事業を継続 していくことを重点に実施す る。	人	2,100	1,918	91.3	事務事業評価と合わせた鑑賞者数で目標設定を行 う。 依然として残る新型コロナウイルス感染症の影響によ り、事前申込制にて来場者を制限する実施会場もあ り、鑑賞者数は目標値を下回ったものの、開催した団 体からは好評であるため再度実施したいという要望が 多く、満足度は高い。また、市民の身近なところで文 化芸術に触れる機会を提供するという事業目的も達 成している。	A	B	B	C				A	R5年9月から6年3月までの期間で、瀬戸フィ ル音楽会、和太鼓、箏・トランペットデュオ、サ クソフォン・マリンバユニット、寄席、バルーンパ フォーマンスの6メニュー、21公演を実施した。 また、このうち圏域内では、東かがわ市で3公 演、さぬき市で1公演、綾川町で2公演、土 庄町で1公演を実施した。	【さぬき市】さぬき市民文化祭in大川に瀬戸フィルハーモニー交響楽団を呼び、プログラムに組み込んだ。 【東かがわ市】箏＆トランペットデュオ「A l i n」、讃岐国分寺太鼓の公演会を開催した。計 3 公演開催し、 新型コロナウイルス感染症対策として来場者を制限しながらも多数の市民が参加した。 【土庄町】「箏＆トランペットデュオ アリン」の音楽会を開催した。 【綾川町】8月27日（日）、道の駅滝宮にて、地域活性化及び地元産食材のPRとして「綾バル」を開催した。
		14*1	文化芸術鑑 賞等の機会 の提供	鑑賞者数 （劇団四季ミ ュージカル鑑賞）	児童、先生を合わせた鑑賞 者数（連携市町分含む） 高松市と連携市町の全6年 生を招待しているため、児童 数と引率教員数が鑑賞者 数となる。平成25年～27 年の平均鑑賞者数を基に 目標比を算出する。 （H25:4,985人、H26： 5,323人、H27：5,143 人）	人	5,571	4,893	87.8	直近3年間の平均鑑賞者数を基に目標値を算出す る。 児童数と引率教員の合計数がそのまま鑑賞者数とな るため、実績値に関しては、その年の児童数の増減が 関係する。 なお、R2年度～4年度は新型コロナウイルス感染拡 大の影響により劇場実施を見合わせたため、目標値 については、H29年度～R元年度の平均鑑賞者数を 置く。	A	A	B	A	B	A	A	A	R6年2月8日（木）及び9日（金）の2日 間で計3公演、レクザムホール大ホールにて、 令和5年度劇団四季ミュージカル"こころの劇 場"「ジョン万次郎の夢」を実施した。	【さぬき市】劇団四季「こころの劇場」ミュージカル鑑賞を実施 ※市内 7 小学校（津田、さぬき南、志度、さぬき北、寒川、長尾、造田） 【東かがわ市】文化芸術鑑賞の場の提供は他地域との連携事業にて同内容のものを実施している。教育プログラ ムの都合上併用は難しく当該圏域による事業実施にはつながっていない。 【土庄町】高松市内で行われた劇団四季ミュージカル公演に町内小学校6年生が参加した。 【小豆島町】町内 4 小学校の 6 年生が劇団四季ミュージカルを鑑賞した。 【三木町】町内全小学校（4校）の6年生が、高松市で劇団四季ミュージカルの鑑賞を行った。 【直島町】動画視聴人数 18人 （6年生 児童17人、担任1人） 【綾川町】当日、病気等の理由による児童以外は全員参加できた。
		14*2	文化芸術鑑 賞等の機会 の提供	参加校数（美術 館学習）	参加校数	校	42	25	59.5	H28年度実績（32校）を基に設定。 特別展のチラシ配布等広報に努めたが、目標には届 かなかった。	B	B	B	A	D	B	C	C	圏域内の小・中学校に特別展チラシ等を配 布し、美術館学習の周知を行い、参加を希 望する学校に対して、美術鑑賞学習及び施 設見学等を実施した。	【さぬき市】取組なし 【東かがわ市】既存の授業日程の都合上利用が難しく事業実施にはつながっていない。 【土庄町】高松市内で行われた劇団四季ミュージカル公演に町内小学校6年生が参加した。 【小豆島町】実績なし 【三木町】取組実績なし。 【直島町】取組実績なし。 【綾川町】参加校なし
				15	観光バリアフ リーのための U Dマップ作 成・活用事業	UDマップ掲載HP 閲覧数	連携中枢都市圏のHPに UDマップを掲載する予定の ため、掲載後のHP閲覧者 数をKPIとする	件	24,840	190,042	765.1	UDマップを導入した翌年度（R元年度）の閲覧件 数を基準に、R5年度までに毎年120件ずつの増を目 指すこととしている。 目標達成の理由としては、出前ふれあいトークや広報 誌等においてUDマップの周知をしたことが要因の 1 つ と考えられる。	A	B	A	A	A	A	B	B

連携協約項目			事業 No	事業 （取組） 名	KPI（成果目標）						高 松 市	連携市町評価						令和5年度 高松市取組実績	令和5年度 連携市町の取組実績			
					KPI	KPI説明	単 位	令和5 年度 目標	令和5 年度 実績	達成 率		令和5年度の目標設定方法及び目標値に対する 実績の理由	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町			直 島 町	綾 川 町	
2 高次の都市機能の集積・強化	ア	高度な医療サービスの提供	16	医療人材の確保・育成	看護師等養成所卒業生の資格取得率	看護師等養成所の運営に対して助成を行い、卒業生の資格取得率の向上を図ること、新たな医療人材の確保を達成する。	%	100	94	93.5	H28年度から最終年度まで卒業生全てが資格を取得すると想定し、100%を目標値として設定している。 令和5年度は卒業生のうち93.5%（92人中86人）が資格を取得することができた。	A						A		看護師及び准看護師の養成所（高松市医師会看護専門学校、木田地区医師会附属看護学院）の運営費の一部を助成することにより、医療人材の確保を図った。	【三木町】木田地区医師会附属看護学院の運営に対して継続して助成を行った。	
			17	医療職員の交流等	地域医療連携カンファレンス・セミナーにおける高松市外参加者数	地域の連携医療機関の医師との医療連携を進めるため、地域医療連携カンファレンス・セミナーを開催し連携強化に努める	人	26	16	61.5	地域医療連携カンファレンスはR5年 6 月22日にみんなの病院（みんなのホール）にて開催。また連携セミナーはWeb会議形式（Zoom）により5 回開催した。	B	B		A	A	B		A		会場参集での研修は新型コロナウイルス感染状況を確認しながらと1回実施となった。食事提供は飛沫感染の懸念となるため行わず、講義提供と交流のみとなった。Web参加での場合は高松市以外の職員も参加可能であったため、数名の実績が得られた。	【さぬき市】高松市立みんなの病院主催にて、徳島大学大学院医歯薬学研究部脳神経外科学教授を講師に迎えて地域医療連携カンファレンスが1回、地域医療連携セミナーが5回開催された。 【土庄町】地域連携室MSWが参加 【小豆島町】地域連携室MSWが参加 【三木町】町立の医療機関を有せず、取組実績なし。 【綾川町】0 件
	イ	高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	18	ICカードを利用した公共交通利用促進事業	公共交通利用促進事業実施自治体数	取組の目的は、I C カード「I r u C a」を利用した公共交通利用促進事業を拡大することにより、公共交通の利便性を向上し、利用の促進を図るものであり、施策の参加自治体を増やす。	自治体	4	3	75.0	周知・情報共有などの準備期間であるため、現状維持を目標として設定した。 R5年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有し、事業を拡大する。	B	B		A	A	A		A		R5年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。	【さぬき市】ＪＲ 四国各駅での利用・導入に係る検討状況等について協議した。 【土庄町】「IruCa」及び「10カード」の利用を継続した。 【小豆島町】「IluCa」及び「10カード」の利用継続。新紙幣に対応するためのシステム改修を実施。 【三木町】担当者間で事業促進の協議を行い、広報などでICカードの利用促進についてPRした。 【綾川町】ゴールドイルカ事業を継続実施。 セーフティルカ（7 0 歳未満の運転免許証返納者）へのサービスも継続実施。
	ウ	高等教育・研究開発の環境整備	19	大学等と連携した、将来の圏域を担うリーダーの育成	大学等との連携・協力事業数	庁内照会により把握した大学等との連携・協力事業数	事業	127	131	103.1	年間 3 事業ずつ連携事業数を増やし、R5年度までに110事業を目指す。 コロナ禍を経ても連携事業が定着しており、新規事業も実施することで、目標値を超えることになった。	A	B	B	A	B	B	C	B		「大学・地域共創プラットフォーム香川」で、産学官それぞれの課題認識を共有し、連携を深めるための産学官連携交流会等の事業を実施するとともに、市長と学長・校長との懇談会を開催し、若者から選ばれるまちづくり・大学づくりについての意見交換を行った。	【さぬき市】職員の香川大学地域マネジメント研究科での就学を支援している。 【東かがわ市】本市の就職推進センターが大学のキャリアセンター等と連携し、学生の圏域内企業への就労に向けた支援を行っていた 【土庄町】連携事業の実施までには至っていないが、大学と域学連携を行った。 【小豆島町】イベントの実施、地元企業へのインターンシップ、ワーケーション実証実験事業等に参画。 【三木町】庁内各課に香川大学との連携事業について照会をかけ、改めて連携事業数を把握。 【直島町】直島町まち・ひと・しごと創生推進会議委員等、町単独での取り組みは香川大学と実施しているが、圏域内での取り組みについて、具体的な取組に至っていない。 【綾川町】多文化共生を通じた情報発信において、学生プロジェクトと連携し、事業を実施した。
			20	産学官連携推進事業	大学及び企業等との連携事業数	庁内照会により把握した大学等との連携・協力事業数及び包括協定を締結する企業等との連携事業数	事業	187	255	136.4	大学等との連携・協力事業数及び包括連携協定等を締結する企業等との連携事業数の合計とし、R5年度までに170事業を目指す。 コロナ禍を経ても連携事業が定着しており、新規事業も実施することで、目標値を超えることになった。	A	B	B	D	A	A	C	B		新型コロナウイルス感染症が感染症法上の 5 類に変更されたことにより、各種連携事業を推進しやすくなったこともあり、目標を達成できた。また、1 者と新たな包括連携協定を締結した。 包括連携協定締結後、各連携事業が形式的に実施されたり、終了されたりするなどの課題もある。	【さぬき市】1 企業と新たに包括連携協定を締結した。 【東かがわ市】市独自で香川大学との域学連携を継続しているが本市の活性化のみを協議、検討している。 【土庄町】連携事業の実施までには至っていないが、大学と域学連携を行った。 【小豆島町】・石丁場調査委員会による新たな石丁場の発見調査（徳島文理大学） ・観光イベントでのボランティア活動（香川大学及びせとち観光専門職短期大学） 【三木町】地域公共交通の項目で連携事業を実施。 【直島町】直島町まち・ひと・しごと創生推進会議委員等、町単独での取組は香川大学と実施しているが、圏域内での取組について、具体的な取組に至っていない。 【綾川町】多文化共生を通じた情報発信において、香川大学の学生プロジェクトと連携し、事業を実施した。 また多文化共生分野については、企業と協力して事業を進めることができた。
	エ	その他、高次の都市機能の集積・強化に係る施策	21	データ利活用型スマートシティ推進事業	連携して収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	IoT共通プラットフォームを活用して、各市町と連携し、収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	分野	4	1	25.0	R6年度KPI目標を見据え、連携するデータ分野の拡大を目指し、R5年度目標を設定。R5年度は、新しいデータ分野の連携には至らず、R4年度の状況維持となった。	A	B	B	D	B	B	C	B		本市のIoT共通プラットフォーム（FIWARE）の共同利用について、綾川町と締結している協定に基づき、R2年度より防災分野において、水位計データや降水量データ等の共有・可視化等を実施している。（なお連携中枢都市圏以外で観音寺市とも共同利用を実施している。）	【さぬき市】事務局会での情報交換を行った。 【東かがわ市】瀬戸・たかまつネットワークの関係者による情報連携 【土庄町】実績無し 【小豆島町】高松市との連携体制の構築。 【三木町】関係者間の調整を行った。 【直島町】運用コスト面など引き続き検討を行った。 【綾川町】出水期において避難指示を発令するような事例がなかったため、実績としては特にないが、水位監視と監視カメラは正常に稼働している。

連携協約項目					事業 No	事業 （取組） 名	KPI	KPI説明	単 位	KPI（成果目標）				令和5年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	連携市町評価							令和5年度 高松市取組実績	令和5年度 連携市町の取組実績
										令和5 年度 目標	令和5 年度 実績	達成 率	さ ぬ き 市			東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町	綾 川 町			
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(ア)	地域医療	22*1	高松市立病院運営事業	紹介率 （市民病院）	患者の紹介・逆紹介等の実施により、圏域の医療提供体制の充実が図られるとともに、連携町からの患者を受け入れる。	%	50.0	78.8	157.6	地域医療支援病院の承認要件であり、紹介率50%を満たすことが必須である。	A				B	A	B	A	A	紹介率78.8%、R3年度の70.6%より8.2ポイントの上昇となった。	【土庄町】市民病院の評価項目 【小豆島町】対象患者無し 【三木町】町立の医療機関を有せず、取組実績なし。 【直島町】1件 【綾川町】みんなの病院への紹介は6件となっている。
					22*2	高松市立病院運営事業	逆紹介率 （市民病院）	患者の紹介・逆紹介等の実施により、圏域の医療提供体制の充実が図られるとともに、連携町からの患者を受け入れる。	%	70.0	88.2	126.0	地域医療支援病院の承認要件であり、逆紹介率70%を満たすことが必須である。	A				A	A	B	A	A	逆紹介率88.2%、R3年度の84.8%より3.4ポイントの上昇となった。	【土庄町】地域連携室MSWが参加 【小豆島町】対象患者無し 【三木町】町立の医療機関を有せず、取組実績なし。 【直島町】1件 【綾川町】22名の紹介があった。
					23	救急医療体制の確保	市民満足度における「医療体制の充実」の満足度	休日・夜間における初期及び二次救急医療体制の確保を図ることで、市民が安心して暮らすことのできる環境づくりを目指す。	%	45	42	92.5	H28年度から毎年度0.6%ずつ上昇させ、最終年度に45.3%の目標値を設定している。 R5年度市民満足度調査の結果において41.9%であった。	A						A	A	A	地区医師会への在宅当番医制の委託、歯科救急医療センターにおける休日・夜間歯科診療運営事業への助成、病院群輪番制病院運営事業に対する助成及び夜間急病診療所の指定管理者による運営により、休日・夜間における初期及び二次救急体制の確保を図った。	【三木町】在宅当番医制事業運営費等負担金 （木田地区医師会・木田郡歯科医師会） 病院群輪番制運営費負担金 病院群輪番制病院設備整備費負担金 【直島町】休日在宅当番医制及び病院群輪番制ならびに高松市歯科救急医療センターの運営について支援を行った。 【綾川町】R5年度実績 参加医療機関数 16機関 医師会員数 98人
					24	救急艇の活用	-	-	-	0	0	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏域救急艇運用協定に基づき、直島町、小豆島町及び土庄町からの患者搬送体制を維持している。	A				B	A		C	救急艇搬送実績 直島町 0件0名 小豆島町 3件3名 土庄町 26件26名	【土庄町】救急艇搬送実績 土庄町住民 15件 小豆郡以外住民 0件 【小豆島町】搬送実績 土庄町：14件 小豆島町：15件 【直島町】緊急時や夜間の高松方面へ搬送する場合について利用を検討した。		
					25	島しょ部（土庄町及び小豆島町）への医師派遣事業	医師派遣件数	医師の派遣に関する協定に基づく、派遣件数	件	0	0	高松市立みんなの病院の医師を、島しょ部である小豆島町の自治体病院に派遣した回数	D				D	D			取組実績なし （小豆島中央病院からの派遣要請が、H29年度末で、一旦終了したため）	【土庄町】実績無し 【小豆島町】実績無し		
					26	遠隔医療ネットワークを使った連携	医療情報公開実績件数（H28からの累計）	患者さんの同意に基づき、参加医療機関からの求めに応じた診療情報（画像・カルテ等）の公開件数 年50件、H28～H35までの8か年の累計	件	400	950	237.5	過去実績等を踏まえた目標設定に対し、引き続き開業医への訪問時等の機会を捉え、K-MIXの利用促進を図ったことにより、実績は目標を上回った。	A	A			A	A	B	B	かかりつけ医との情報共有を図ることにより、地域における高度かつ効率的な医療の提供に貢献した。	【さぬき市】大学病院をはじめとする他医療機関と連携し、運用している。 【土庄町】実績無し 【小豆島町】実績無し 【三木町】町立の医療機関を有せず、取組実績なし。 【綾川町】0件	
					27	「地域包括ケア病棟」運用事業	在宅復帰率	地域包括ケアシステムの中で、その一翼を担うため、地域包括ケア病棟の開設し、患者の在宅復帰支援を行う。（在宅復帰率）	%	70	85	121.3	在宅復帰率は施設基準上の指標であり、在宅復帰率7割を満たすことが必須である。	A	B			B	B	D	A	地域包括ケアの後方支援を強化するため、「地域包括ケア病棟」を設置するとともに、入院支援や在宅医療支援、医療福祉相談などを一元化して提供できるよう「地域医療・患者支援センター」において、急性期を脱した患者の在宅復帰を支援し、在宅復帰率85%を達成した。	【さぬき市】地域包括ケア病棟の運用において、早期から看護師や理学療法士等が患者に関わるとともに、MSWによる積極的な在宅支援に努め、在宅復帰率の向上を図った。 【土庄町】市民病院の評価項目 【小豆島町】市民病院の評価項目 【三木町】取組なし 【綾川町】地域包括ケア病床を活用し、在宅復帰の向けた取組みに努めた。	
					28	がん検診の広域化	高松市医療機関でがん検診を希望した者のうち、検診受診につながった者の割合	-	%	100	100	100.0	連携市町のがん検診実施機関の整備状況に合わせ、各市町住民のがん検診受診の利便性を図り、受診機会を確保し、がんの早期発見・早期治療を促すものです。そのため、高松市の医療機関で子宮頸がん・乳がん検診を希望した連携町の住民が、全員受診できることを目標としています。	A							A	連携を希望とする直島町と協議し、市医師会との調整を図った。子宮頸がん4人、乳がん3人が受診	【直島町】受診を希望する方が希望医療機関で受診ができるよう受診予約調整を行い、受診につながるよう支援を行った。	

連携協約項目					事業 No	事業 （取組） 名	KPI（成果目標）						連携市町評価							令和5年度 高松市取組実績	令和5年度 連携市町の取組実績		
							KPI	KPI説明	単 位	令和5 年度 目標	令和5 年度 実績	達成 率	令和5年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町			直 島 町	綾 川 町
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(イ)	介護	29	地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）広域利用事業	当該事業所周知率	当該サービス事業者の指導・監督権限を有するため周知を行った割合	%	100	100	100.0	当該サービス事業者の指導・監督権限を有する施設を目標値とし、周知を行った件数を元に評価した。	A							C	高松市地域密着型サービス事業者指定に係る制限に関する要綱において、本市域内の地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）については、原則、本市転入後6か月を経過しない者の利用又は入居はできないが、当該サービス事業所がない直島町からの転入者には、6か月が経過していても利用又は入居できる運用とする。	【直島町】当該地域への認知症対応型共同生活介護への入所希望の相談件数は0件。
					30	在宅医療・介護連携推進事業	医療・介護関係者が多職種連携についてできていると評価した点数（10点満点）の平均	多職種連携研修等に参加している専門職による、地域の多職種連携構築度評価の平均得点（最高10点、最低0点）	点	10	5	54.0	多職種間での連携体制を構築することを目標とし、連携が取りやすくなるように事業に取り組んだ。事業の実施にあたり工夫した点は①様々な職種が、連携しやすく感じるような、テーマ内容とした。②顔の見える関係性を構築するため、名刺・情報交換会を開催した。しかし、参加した多職種は、医療介護連携について、発展途上であると考えている人が多く、目標達成までは至らなかった。	C						B	C	在宅医療・介護連携推進事業の8事業項目において、更に内容を充実させるため、下記の事業に取り組んだ。 ・在宅ケア便利帳（Web版）の維持・管理 ・在宅医療支援センターの運営 ・入退院支援ルール及び情報共有シートの周知・啓発 ・ACPの普及・啓発及びコーディネーターの養成 ・多職種連携体制構築のためのミーティング、研修会等の開催	【三木町】「在宅医療・介護連携推進協議会」6回/年開催 ・普及啓発講演会開催 ・住民と多職種研修会開催 ・「みきまんでがん手帳」の見直し検討 ・仮称「緊急カード」作成に向けた検討 ・相談窓口（地域包括支援センター） ・ホームページの随時更新 等 【直島町】今年度は情報交換会に参加できなかった。
					31	地域包括支援センター運営事業	自立高齢者率	介護・支援を必要としない65歳以上の高齢者の割合（%）	%	165	79	47.9	目標値は、高齢者数の将来推計等から設定。圏域内の市町と情報交換会を開催し、地域包括支援センターの運営について、意見交換やノウハウを共有することで、目標達成の一助となった。	A	B	A	B	B	A	B	A	【さぬき市】介護予防教室（いきいき健康教室 313回/年、元気のからくり教室 856回/年） ・介護予防サポーター活動回数 1回/2か月程度 【東かがわ市】地域包括支援センターにかかる情報交換会に1回参加 【土庄町】4名参加 【小豆島町】高松市の呼びかけにより情報交換事前議題提出（8月）。WEB会議（9月）にて2名出席し、各市町の状況が確認できた。 【三木町】関係市町情報交換会にて、各市町から出た議題をもとに、情報交換、問題の共有ができた。 【直島町】今年度は情報交換会に参加できなかった。 【綾川町】通いの場や100歳体操の再開や新規参加へ周知、専門職等と連携し後方支援を実施。	
					32	徘徊高齢者保護ネットワーク	徘徊高齢者保護ネットワークによる発見率	徘徊高齢者保護ネットワークに提供された、徘徊高齢者の搜索依頼件数に対する発見割合	%	500	300	60.0	行方不明高齢者の全員を発見することを目標としているが、高松市内で発生した、4件の搜索依頼のうち4件全てを発見できたことによるもの。	A	B	B			B		B	認知症高齢者の行方不明事案が発生した場合に、警察署や市役所の関係課などの関係機関が連携する「認知症等行方不明高齢者保護ネットワーク」を活用し、より広域で行方不明高齢者の情報を共有化することにより、当該高齢者の早期発見に取り組んだ。令和5年度の連携中枢都市圏域でのネットワーク利用は、0件であった。	【さぬき市】周辺市町との徘徊高齢者保護ネットワークを活用。 ・他市町への保護要請依頼 0件 ・他市町からの保護要請受諾 0件 【東かがわ市】かがわ高齢者見守りネットワークにより広域的に実施 【三木町】今年度は町内発生事案はなかった。また、連携市町間で連絡を要する事例も特になかった。 【綾川町】当町（綾川町高齢者声かけ・見守りまちかどまっと歓事業）徘徊高齢者のメール配信依頼件数は3件、メール配信事前登録は5件であった。また、徘徊高齢者位置情報探索システム補助申請は1件であった。
					33	介護認定審査会事業	介護認定審査会開催件数	原則週2回開催される介護認定審査会開催の開催数（グループ毎の合計）	回	2,027	1,812	89.4	目標値の根拠：認定審査会の年間開催予定数を目標値とする。 評価の理由：審査案件数が少ない週は認定審査会が不開催となる合議体も発生するため、目標値を下回った。	A						A	A	A	3町から委託された審査案件全てを認定審査会にて審査・判定し、要件に合致する認定申請については、認定審査会を簡素化して実施した。簡素化の実施により、1回の審査会で審査・判定できる審査案件数が増加したため、認定審査会の年間開催予定数を簡素化実施以前より減少させている。

連携協約項目					事業 No	事業 (取組) 名	KPI（成果目標）							高 松 市	連携市町評価							令和5年度 高松市取組実績	令和5年度 連携市町の取組実績		
							KPI	KPI説明	単 位	令和5 年度 目標	令和5 年度 実績	達成 率	令和5年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由		さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町	綾 川 町				
3	圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(ウ)	福祉	34	自立支援協議会運営事業	全体会開催回数	定期的な情報共有を図るとともに、検討する場として開催している、全体会開催回数を成果指標とする。	回	2	2	100.0	例年通り年2回開催を継続。	A						A	A		全2回（5月、11月）開催し、協議会の取組報告と意見交換を行った。2回とも部会活動報告と災害時対応について、報告し、意見交換を行った。	【三木町】高松圏域自立支援協議会の運営を支援した。また、全体会を開催し、地域の関係機関・関係団体への周知や意見の聴取を行った。 全体会開催回数 年2回 【直島町】毎月開催の自立支援協議会運営会議、子ども部会・発達障害部会医ケア部会に随時出席。 年2回開催の全体会に出席。
						35	障害支援区分等審査会業務の連携	審査会開催回数	原則毎週水曜日に審査会を開催していることから、開催回数を成果指標とする。	回	103	101	98.1	年間最大50回の開催を継続。	A						A	A	A	審査会を48回開催し、本市と3町の審査について、引き続き連携した。 審査件数：高松市908件、三木町67件、直島町6件、綾川町54件	【三木町】審査依頼件数 67件 【直島町】障害支援区分の認定審査を依頼。依頼件数は7件。 【綾川町】区分審査53件
						36	ファミリー・サポート・センター事業	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	件	8,350	11,389	136.4	過去の実績等から目標を設定した。 R5年度は、広報誌の発行や交流会の開催など、制度の周知に努め、目標を達成した。	A	B	B				B	B		援助活動件数：9,934件 会員養成講座：年間で計3回開催、会員スキルアップ講座：年2回開催、会員交流会：年2回開催 ファミサポ通信：34・35号発行	【さぬき市】会員登録者数（おねがい会員244人、まかせて会員147人、どっちも会員8人） 援助活動実績数475件 【東かがわ市】県内ファミリー・サポート・センターアドバイザー同士の意見交換会の実施（R5年8月30日 市交流プラザ） 【三木町】出張登録会を2回行った。 子育てパンフレット「みき育ぼん」に掲載したり、保育所・幼稚園・学校等にリーフレットを配布するなどして、子育て家庭へ事業の周知を行った。 【綾川町】年度当初、町内こども園・小学校、子育て支援施設にリーフレットを配布し、ファミリーサポートセンター事業の周知を行った。年に2回のファミリーサポートセンター出張登録会を行い、会員の増加を図った。

連携協約項目					事業 No	事業 (取組) 名	KPI（成果目標）					高 松 市	連携市町評価						令和5年度 高松市取組実績	令和5年度 連携市町の取組実績			
							KPI	KPI説明	単 位	令和5 年度 目標	令和5 年度 実績		達成 率	令和5年度の目標設定方法及び目標値に対する 実績の理由	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町			三 木 町	直 島 町	綾 川 町
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(エ)	教育・文化・スポーツ	37	移動図書館巡回事業	貸出冊数	直島町の巡回ステーション2か所における年間図書貸出冊数	冊	7,000	4,701	67.2	計画当初より、目標値は固定して設定しており、順調に推移していたが、コロナ禍の影響により、貸出冊数が大幅に減少した。	A						A		毎月1回、移動図書館車が直島町内の2ステーションを巡回し、図書館サービスを提供した。	【直島町】・年間利用者のべ483名 ・同貸出し冊数4,701冊
					38	読書推進ボランティア養成事業	講座受講者数	読書推進に係るボランティア養成講座の年間受講者数	人	170	186	109.4	目標値はボランティア養成講座の各定員の合計人数としている。 これまで各団体が個別に実施していたボランティア等を対象にした養成講座を広域連携として実施することにより、各団体における経費等の負担軽減が見込める。しかしながら、各団体のスケジュール等の都合により広域連携の参加者数が増えていない。	A	B	B	C	B	B	C	B	視覚障がい者支援やおはなし会、ストーリーリングについて、読み聞かせボランティア等の技術の習得や向上を図るため、連携市町のボランティア（グループ）も参加対象として、講座を4回実施し、185人（広域0人）の参加があった。なお、情報共有として、各市町へ開催報告を行っている。また、新年度からブックスタート事業を再開するにあたり、32人のボランティアを対象に3月に研修実施したが、この研修については、各市町への情報提供ができていない。	【さぬき市】おはなし会スキルアップ講座を行った。 ・R5年5月14日 新型コロナウイルス感染症が5類移行直後だったため、対策として引き続き午前、午後各1回ずつ開催した。各6名定員募集で合計12名の参加があった。 【東かがわ市】研修会を計画をする際の参考や館内で利用者に周知している。おはなし会ボランティア団体へは、直接代表者へ情報提供を行う 【土庄町】連携事業としての実績なし。 【小豆島町】チラシ頒布 【三木町】・新規ボランティアを1名獲得し、研修会を実施。 ・メンバーで集まり、検品作業やブックスタートをお渡しする際に一緒に渡すプレゼント作成を行い、メンバー同士の交流も図った。 【直島町】例年実施しているメンバーであるため、研修会等は取り組み実施がなかった。 【綾川町】受講者数 0人。
					39	帰国児童等支援事業	帰国児童等への日本語指導等対応率	指導を行った件数／指導が必要な帰国児童等	%	300	169	56.3	帰国児童等への日本語指導等に十分に対応でき、児童生徒の円滑な学校生活や学習支援に寄与した。	B						C	A	近隣自治体と要支援情報等について情報を共有し、支援が必要な児童生徒の対応に生かした。また、近隣自治体にも情報提供を行った。帰国児童等の急な入れ替わりや増員により、日本語指導者の派遣が難しいものとなった。	【三木町】取組実績なし。 【綾川町】指導が必要な児童に対して、県の事業を活用して対応した。（2名）
					40	特別支援教育推進連携事業	相談希望校等への相談訪問率	相談訪問件数／相談希望校数	%	500	300	60.0	発達障害など、個の教育的ニーズに応じた支援の在り方について相談を希望した学校全てに、専門指導員を派遣し、特別支援教育の充実を図ることができた。	A			A		D	B	A	・特別支援教育に関する研修会をオンラインで実施し、各市町から参加した。 ・特別支援教育に関する情報交換を行い、他市町の状況を共有することができた。	【土庄町】高松市が行う特別支援に関する研修会にオンラインで参加し、職員の資質向上に努めた。 特別支援教育に関し、圏域市町等と情報交換を実施した。 【小豆島町】実績なし 【三木町】連携事業や特別支援教育研修会等について情報交換等を行った。 【綾川町】学期に1回全校を訪問した。
					41	こども未来館学習体験事業	こども未来館学習参加校数	こども未来館学習参加校数	校	59	70	118.6	【R5年度の目標設定方法】 高松市内の小学校と瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小学校を合わせて、50校としていた。 【目標値に対する実績の理由】 R5年度は新型コロナウイルス感染症の影響もなく、希望するすべての小中学校で実施することができた。実施校は66校となり、目標値を大きく上回った。	A	A		A	A	A	A	C	小学校60校（市内小48校、連携小12校）及び高松市内の中学校6校の合わせて66校がこども未来館学習を実施した。	【さぬき市】さぬき市内 小学校4校実施 ・志度小学校 R5年7月6日 4年生 ・寒川小学校 R5年9月14日 4年生 ・造田小学校 R5年10月12日 4年生 ・津田小学校 R5年12月6日 4年生 【土庄町】町内小学校の1校が参加。 【小豆島町】町内の小学校から2校が参加した。 【三木町】全ての小学校(4校)で実施した。 【直島町】参加者数18人（児童16人、引率教員2人） 【綾川町】利用校なし
					42	史跡・遺跡の調査研究及び発信	講座等参加者数	圏域内の史跡・遺跡の調査研究について、講座等でその成果を紹介し、情報発信を連携して行う。その参加者数	人	1,800	2,213	123.0	連載講座や勝賀城跡国史跡指定記念シンポジウム、見学会を開催したほか、市政出前ふれあいトーク等を通じて遺跡の調査研究の情報発信を行った。	A	B	A	B	C				連載講座の実施 3回 シンポジウムの開催 1回 講座や見学会、出前講座の実施 33回 学校出前講座の実施 8回	【さぬき市】市内の遺跡から出土した遺物についての情報交換を行った。 【東かがわ市】引田城跡啓発事業（引田城ガイド）を実施し、40回232人の参加があった。 【土庄町】連携事業としての実績なし。 【小豆島町】特に無し
					43	高松市埋蔵文化財センターの運営	施設利用者数	埋蔵文化財の調査技術、調査成果等に関する情報交換を行うとともに、埋蔵文化財の情報発信事業（展示等）のための資料の相互貸借を行う。その利用者数	人	1,600	1,713	107.0	企画展や体験講座等を実施して、イベントに参加する機会を設けた。	A	B	A	C	C			B		企画展の開催 2回 企画展講座の開催 1回 夏休み講座の開催 5回 体験講座の実施 1回

連携協約項目					事業 No	事業 （取組） 名	KPI（成果目標）					高 松 市	連携市町評価						令和5年度 高松市取組実績	令和5年度 連携市町の取組実績	
							KPI	KPI説明	単 位	令和5 年度 目標	令和5 年度 実績		達成 率	令和5年度の目標設定方法及び目標値に対する 実績の理由	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町			三 木 町
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア 生活機能の強化に係る政策分野	(イ) 教育・文化・スポーツ	44	中学校総合体育大会等の連携	中学校総合体育大会等における実施競技数	中学校総合体育大会・中学校新人体育大会における実施競技数に、中学校駅伝競走大会を加えた競技数	競技	18	18	100.0	例年実施している競技の大会を継続して開催することにより、体力・運動能力の向上や相互の友情を深めるとともに、教職員の体育指導の資質を高めるなど、体育の充実発展と心身ともに健全な生徒の育成を図ることができる。また、新人体育大会、総合体育大会、駅伝競走大会を開催し、部活動等での練習の成果を発揮することができた。	A					A	B	高松地区総合体育大会、高松地区新人体育大会及び高松地区駅伝競走大会の開催	【三木町】総合体育大会、新人体育大会に参加した。中学校駅伝競走大会には参加しなかった。 【直島町】・中学校総合体育大会 参加競技数4種目（参加生徒数のべ28人） ・中学校新人体育大会 参加競技数3種目（参加生徒数のべ21人） ・中学校駅伝競走大会 参加なし	
			45	高松市屋島競技場の活用	屋島競技場利用者数	屋島競技場の利用者数（旧屋島陸上競技場閉場前3年間平均値：62,827人）	人	120,000	136,249	113.5	旧屋島陸上競技場利用者数と比較して、R5年時点で、利用者数の1.91倍（120,000人）を目標とした。	A	B	C	C	C	C	C	第28回日本ID陸上競技選手権大会に合わせ、ニュースポーツ・バラスポーツ体験会を開催した。 R6年度には、2024ジャパンパラ陸上競技大会の開催が決定している。	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】利用実績なし 【土庄町】連携事業としての実績なし。 【小豆島町】特に無し 【三木町】チラシ配布等、各種イベントのPRを図った。 【直島町】取組実績なし 【綾川町】実績なし	
			46	地域密着型トップスポーツチームの試合観戦機会等の提供	トップスポーツチーム試合観戦者数	地域密着型トップスポーツ4チームのホームゲームにおける観戦者数	人	179,200	83,953	46.8	3か年（H24年度～26年度）の実績（前年比）の平均値を基に、算出している。 新型コロナウイルス感染症の拡大により、チームの観客数は大幅減となっていたが、いずれのチームの観客数も回復傾向にある。目標値比46.8%。	C	B	A	B	B	B	C	B	圏域内の児童生徒等に、高松市内を拠点に活動している地域密着型トップスポーツチームの試合観戦の機会を提供するため、チーム等との連絡調整及び取りまとめ事務を行った。	【さぬき市】香川オーブリガイナース：ホームゲームでさぬき市民無料招待及びさぬき市特産物を提供。 カマタマレ讃岐：ホームゲームでさぬき市民無料招待及びさぬき市特産物を提供。 香川ファイブアローズ：ホームゲームでさぬき市民無料招待及びハーフタイム抽選会にさぬき市特産物を提供。 【東かがわ市】市制施行20周年記念事業実施日程と高松市ホームタウンデー日程が重なったため実績なし 【土庄町】連携事業としての実績なし。 【小豆島町】チラシ等の配布 【三木町】チラシ配布等、各種イベントのPRを図った。 【直島町】派遣事業として調整をしていたが、日程が合わず断念した。 【綾川町】実績なし。
			(オ) 土地利用	47	土地利用施策の広域的な連携・推進	-	-	-	0	0	集約型の都市構造に向けて、特定用途制限地域の見直しなど、広域的な観点から、土地利用施策の連携・推進を行うことで、都市機能や生活機能の集約・強化、居住人口の維持・誘導など、都市圏全体で取り組むことが期待できるため。	A					C	B	連携町が参加する、高松広域都市圏都市交通マスタープランフォローアップ委員会等の各種委員会、会議において本市における都市構造集約化の施策や状況について周知、情報共有をおこなった。	【三木町】広域的な取組みがないため実績なし。 【綾川町】実績なし	
				48	グリーン・ツーリズム等農業振興事業	グリーン・ツーリズム等参加者数	農業体験等のグリーン・ツーリズムを推進し、都市住民との交流促進及び農業所得の向上を図る。	千人	200	168	84.0	事務事業評価表に基づき目標値を設定している。県域での取組が主体となり、連携市町での取組の必要性がなくなった。	D			D	C	B	県域での取組が主体となったため、連携市町での取組実績なし。	【土庄町】連携事業の実施には至っていない。 【小豆島町】県とともにパンフレットを通してグリーン・ツーリズムの推進、情報発信を行った。 【三木町】県と連携してパンフレットを通してグリーン・ツーリズムの推進、情報発信を行った。	
						49	獣害対策事業	ニホンザルの農作物への被害面積	高松市鳥獣被害防止計画に基づく、ニホンザルの農作物への被害面積	ha	2	2	108.1	○R5年度の目標設定方法：過去の実績を基に目標値を設定している。 ○目標値に対する実績の理由：サルの個体数を減らすことで、農作物被害の減少を図る。効果的なわなの設置と集落による被害防止活動への支援を行い、一定の効果が得られた。	B					B	サルの出没情報を共有し、出没頻度の高い地域に集中的にわなを設置した。これによりサルを2頭捕獲した。
50	産学官連携推進事業【再掲】	大学及び企業等との連携事業数				庁内照会により把握した大学等との連携・協力事業数及び包括協定を締結する企業等との連携事業数	事業	187	255	136.4	大学等との連携・協力事業数及び包括連携協定等を締結する企業等との連携事業数の合計とし、R5年度までに170事業を目指す。 コロナ禍を経ても連携事業が定着しており、新規事業も実施することで、目標値を超えることになった。	A	B	B	B	A	A	C	B	新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に変更されたことにより、各種連携事業を推進しやすくなったこともあり、目標を達成できた。また、1者と新たな包括連携協定を締結した。 包括連携協定締結後、各連携事業が形式的に実施されたり、終了されたりするなどの課題もある。	【再掲のため省略】
51	生涯学習推進事業	生涯学習コーディネーター養成講座参加人数				本市がほぼ毎月開催している生涯学習コーディネーター養成講座への年間参加延べ人数	人	488	327	67.0	R5年度目標：各コミュニティセンターから470人、土庄町、小豆島町各1人×9回出席＝18人の合わせて488人を目標とした。R4年度より減少し、目標には達しなかった。	C			B	B		生涯学習コーディネーター養成講座を、年間12回実施し、本市各コミュニティセンターに加えて、連携町である2町に対しても開催を案内し、参加を促した。また、生涯学習センターで実施している講座を掲載している「まなびかんづめ」を連携町に送付し、連携町での周知等を依頼した。	【土庄町】連携事業としての実績なし。 【小豆島町】実施なし		

連携協約項目					事業 No	事業 （取組） 名	KPI（成果目標）							連携市町評価							令和5年度 高松市取組実績	令和5年度 連携市町の取組実績	
							KPI	KPI説明	単 位	令和5 年度 目標	令和5 年度 実績	達成 率	令和5年度の目標設定方法及び目標値に対する 実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町			綾 川 町
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(カ)	地域振興	52	男女共同参画センター学習研修事業	学習研修事業参加者数	学習研修事業に参加することによって、男女共同参画に関する意識が啓発される可能性が高いため。	人	5,000	1,876	37.5	コロナ禍以前に設定したR5度目標値には及ばなかったが、昨年度より参加者の増加につながった。	C			C	B			B	新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じながら、男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナーや講座を実施した。 ○学習研修事業等 全63回	【土庄町】各種講座について、住民に周知した。 【小豆島町】実績なし。 【綾川町】令和5年7月13日、高松市男女共同参画センターへ施設見学を行い、センター長による男女共同参画の研修実施。 引き続き、参画センターでは課内で回覧。
					53	災害時相互応援協定	-	-	-	0	0	-	A	B	A	A	A	A	A	A	圏域市町に大規模な災害が発生していないため、実績はないが、平時時から連携を図り、発生時に的確に対応できるよう備えた。 【土庄町】発災時に速やかな相互応援体制を確保できるよう、実効性を伴った体制を維持する必要がある。 【小豆島町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【三木町】圏域市町に大規模な災害が発生していないため、実績はないが、平時時から連携を図り、発生時に的確に対応できるよう備えた。 【直島町】圏域住民のために必要であり、協定を継続した。 【綾川町】圏域内に大規模災害が発生していないため実績はないが、平時から連携を図り、災害発生時に円滑な対応ができるよう備えた。		
					54	香川県消防相互応援協定	-	-	-	0	0	協定に基づく大規模災害時の相互応援体制を維持している。	A	B	A	A	A	A	A	A	令和6年度に香川県内で実施する中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に伴う作業部会において協議を行った。 【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】大規模災害がなく相互応援は行っていない 【土庄町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【小豆島町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【三木町】圏域市町に大規模な火災が発生していないため、実績はないが、消防相互応援体制を維持し、不足の事態に備えた。 【直島町】圏域住民のために必要であり、協定を継続した。 【綾川町】相互応援協定を活用するような事例がなかったため、特になし。		
					55	高松空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	-	-	-	0	0	有事の際には、関係市町が空港事務所と連携して、消火救難活動を行うことができるよう協定に基づく協力体制を維持している。	A					A		A	高松空港緊急時対応計画に基づく、航空機事故対応総合訓練に参加し、迅速かつ適切な事故対応手順の確認を行った。 【三木町】本協定に定める緊急事態が発生していないため、実績はない。 【綾川町】協定を活用するような事例がなかったため、特になし。		
					56	消防業務の事務委託	-	-	-	0	0	受託町と連携し、消防行政を円滑化、迅速化し事業を実施できている。	A					A		A	受託町における消防行政を円滑に実施するとともに、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進した。 建物火災 三木町6件 綾川町6件 林野火災 三木町0件 綾川町1件 その他火災 三木町9件 綾川町17件 車両火災 三木町0件 綾川町2件 【三木町】委託している常備消防業務（火災出場、救急出場等）が適切に執行され、住民の安心・安全に寄与した。 【綾川町】常備消防事務委託		
					57	地域防災対策事業	講演会等に参加した自治体数	高松市主催で開催している市民防災講演会や、情報交換会に参加した自治体数	自治体	8	7	87.5	目標値の根拠：圏域7市町と、災害時の通信方法を確認するため。 評価の理由：本市主催で開催した市民防災講演会を前年度と同様にWEB参加も可能としたことで、圏域7市町に参加いただき、地域防災に活かしていただいた。また、その後開催した情報交換会も会場とWEB併用で開催し、各市町が抱える課題について、情報共有を図ることができた。また、顔の見える関係を築けたことで、連携強化が図れた。	A	B	B	A	A	A	B	B	本市主催の市民防災講演会『知ってますか？ 南海トラフ地震臨時情報』『南海トラフ地震をイメージする』（1/15）への出席と防災担当者情報交換会を開催し、圏域全市町に参加いただいた。 【さぬき市】 高松市主催の市民防災講演会への出席と情報交換会に参加した。 今年度は防災士の参加も可能となったため、市内の防災士へも案内し、資質向上を図った。 【東かがわ市】震災対策総合訓練に参加、また、高松主催の市民防災講演会に出席し、終了後に7市町での情報交換会に参加した。 【土庄町】高松市が主催する防災講演会及び情報交換会に参加した。（Web会議） 【小豆島町】担当者が会し、情報共有を行った。（WEBでの参加を含む） 【三木町】市民防災講演会への出席と連携市町での意見交換会を実施した。 【直島町】令和5年度は高松市主催の市民防災講演会へ出席できなかった。 【綾川町】令和6年1月15日に開催（web会議）された防災担当者情報交換会に参加し、圏域市町の取組みや課題を知ることができた。	

連携協約項目				事業 No	事業 （取組） 名	KPI	KPI説明	単位	KPI（成果目標）				令和5年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	連携市町評価							令和5年度 高松市取組実績	令和5年度 連携市町の取組実績
									令和5 年度 目標	令和5 年度 実績	達成 率	高 松 市		さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町	綾 川 町		
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(キ) 災害対策	58	広域航空写真地図データ整備	活用事業数	広域航空写真地図データの活用事業の数【活用事業】 1 防災 2 課税（主に土地の利用状況調査に使用） 3 インフラ整備（カーブミラーやガードレールの設置等） 4 財産管理（市の土地の状況確認） 5 都市計画課（都市計画図作成）	事業	5	5	100.0	防災、課税、インフラ整備、財産管理及び都市計画の5分野での航空写真データの活用を目指しR5年度KPI目標を設定。 行政サービスや生活基盤に係るデータ整備において航空写真データが必要な事業が数多くあり、それぞれが単独で撮影しデータ整備するよりも効率よく進められるため、航空写真データの提供を行い目標達成できた。	A	A	A	A	A	A	B	A	【活用事業1：防災】 盛土安全対策事業用務（高松市建築指導課） 【活用事業2：課税】 固定資産税評価用務（高松市資産税課） 【活用事業3：インフラ整備】 配水管工事等の計画、設計に関する事務（香川県広域水道企業団） 【活用事業4：財産管理】 市有財産管理用務（高松市財産経営課） 【活用事業5：都市計画図作成】 地理空間データ基盤構築に伴う都市計画基本図更新事業（高松市都市計画課）	【さぬき市】3年ごとに実施していることから取組実績なし。（令和4年度実施） 【東かがわ市】道路台帳システム及び地籍情報の更新の資料として活用した 【土庄町】連携事業としての実績なし。 【小豆島町】固定資産税の課税のみならず、防災やまちづくり関連事業等において活用した。 【三木町】広域航空写真地図データを整備等を行い、防災、インフラ整備等に活用しながら、圏域内の生活機能の強化等に取り組んだ。 【直島町】令和6年度固定資産税課税に向けて土地の現況確認に活用した。 【綾川町】圏域市町において航空写真の共同撮影を実施。
			(ク) 環境	59	一般廃棄物の処理・処分に関する業務	-	-	-	0	0	-	A							A	綾川町から委託を受け、西部クリーンセンターにおいて、綾川町の区域から排出される一般廃棄物約5,006t（し尿及び浄化槽汚泥を除く。）の中間処理（焼却、破砕）を行った。また、高松市国分寺地区から排出される一般廃棄物を中間処理した後に生じる残さの埋立処分に関する業務を綾川町に委託し、焼却灰2,088tを綾川町一般廃棄物最終処分場に排出した。さらに、綾川町一般廃棄物最終処分場（綾川町西分）の土堰堤築堤工事の一部（97,119千円）を負担した。	【綾川町】綾川町から排出される一般廃棄物を高松市西部クリーンセンターにて中間処理（焼却・破砕処理）を継続して実施。 また、高松市西部クリーンセンターから排出される高松市国分寺町分の焼却灰を綾川町一般廃棄物最終処分場にて埋立処理を継続して実施。 綾川町一般廃棄物最終処分場土堰堤嵩上工事（第3期、第4期（土堰堤を除く）業務完了。	
				60	し尿処理に関する業務	-	-	-	0	0		B						A	A	三木町・綾川町から排出された、し尿及び浄化槽汚泥の処理を行った。また、本市と綾川町が共有している国分寺町し尿貯留槽の管理を綾川町に委託した。受入実績62,567㎏ （内訳） し尿／浄化槽汚泥／計 三木町1,233㎏／5,651㎏／6,884㎏ 綾川町1,411㎏／3,223㎏／4,634㎏ 高松市8,620㎏／42,429㎏／51,049㎏ 計 11,264㎏／51,303㎏／62,567㎏	【三木町】三木町内で排出されたし尿・浄化槽汚泥の処理を実施。 処理実績 6,883 ㎏（し尿1,233 ㎏、浄化槽汚泥5,650 ㎏） 【綾川町】し尿中間貯留施設の給水ポンプ取替工事の実施。 高松市衛生センター棧橋撤去工事設計の実施。 衛生センター管理業務の見直し協議の実施。	
				61	環境学習等推進事業	環境学習講座参加者数	人	2,430	1,420	58.4	第6次高松市総合計画にてR5年度の目標値を2,400人としていたが、小学校等からの出前講座の依頼が減少したことにより参加者数が伸びなかったため、目標の達成には至らなかった。	C	B	C	C	B	C	A	B	環境ワークショップ12回、自然観察体験事業7回、出前講座50回の合計69回の環境学習講座を開催し、延べ1,371人が参加した。	【さぬき市】EV車（公用車）を2台購入 【東かがわ市】 ダンボールコンポスト講習会を実施 1回 高松市が実施する環境学習を市HPで周知 【土庄町】町内小学校へ環境学習講師として授業を実施。 町内外のイベントについて町HPを活用し、周知。 【小豆島町】取り組み実績なし。 【三木町】11月18日に親子で学ぶ環境教室を実施した。 小学生2名＋保護者2名＝4名参加 【直島町】直島小学校環境教室を3回開催。 （干潟観察、アマモ見学、ハマチ・ノリの養殖見学、ノリ漉き体験） 環境フェスタを開催し、約1,000人の参加者へエコについて、考える場を提供。 【綾川町】水生生物調査に合計33人が参加した。 ごみ収集・分別についての出前講座44名が受講した。	

連携協約項目					事業 No	事業 (取組) 名	KPI（成果目標）						連携市町評価							令和5年度 高松市取組実績	令和5年度 連携市町の取組実績		
							KPI	KPI説明	単 位	令和5 年度 目標	令和5 年度 実績	達成 率	令和5年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町			直 島 町	綾 川 町
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(ク)	環境	62	環境負荷の少ない自動車の普及促進	電気自動車の普及台数	環境に負荷の少ない電気自動車を多くの住民に周知することにより、自動車の新規購入や買換えの際における電気自動車購入の意識付けを行う。また、急速充電器の管理・運営を行うとともに、充電設備の設置状況の情報提供を行うことなどにより、電気自動車の普及を図る。	台	1,666	2,110	126.7	過去の電気自動車及びプラグインハイブリッド車の保有台数（実績）の平均増加率と同程度の増加分が今後も継続するものとして目標値を算出。保有台数増加量は例年増加する傾向にあり、R5実績は目標を大きく上回った。	A	B	B	C	B	A	C	C	環境展及びゼロカーボンシティ展で電気自動車等次世代自動車普及啓発パネルを展示し普及啓発を図った。また、車体をラッピングした公用電気自動車を市内走行させPRするとともに、走行実績に伴う温室効果ガス削減量等の情報をホームページに掲載した。さらに、市が市内道の駅等3か所に設置した急速充電器の情報発信と運営管理を行った。	【さぬき市】市役所本庁舎、総合支所及び出張所の計4か所においてボックス回収を行い、合計460kgを回収した。 【東かがわ市】庁用車として電気自動車1台を導入し、本庁舎へ充電設備を設置した。 【土庄町】各種講座について、住民に周知した。 【小豆島町】圏域内の連携行動は特になし。 ※小豆島町が独自に整備した充電施設などの保全に努め、当分のあいだ無償利用とすることで、電気自動車の普及を促進。 【三木町】再生可能エネルギー導入戦略及や地球温暖化対策実行計画を策定し、環境負荷の少ない自動車を1台購入する。 【直島町】つつじ荘などの施設に給電用スタンドが設置できないか検討した。 【綾川町】普及啓発等の実績なし。公用車として2台電気自動車を設置。
					63	小型家電等リサイクル推進事業	年間回収量	市が実施するボックス回収・ピックアップ回収・イベント回収により回収された使用済小型家電の総量	トン	23	3	15.4	市民への周知・啓発活動を行い、使用済小型家電の回収量増加と循環型社会の意識の啓発につなげることを目標としている。 回収目標については、令和3年度から回収対象品目を新たに11品目追加し32品目へ増やしたことにより、令和3年度の実績が16.2トンと従前から大幅に増加したことから、5年度においてもその状況は継続すると想定し目標は12トンと設定している。 令和5年度は、令和3年度から回収品目が増えていること及び市民への周知・啓発活動に努めたことから、前年度と同程度の回収量を確保することができた。	A	B	B	A	B	A	A	A	・引き続き、市内23か所でのボックス回収、ピックアップ回収、イベント時の回収を行った。 ・「小型家電等リサイクル推進事業担当課長会」は開催せず、連携市町の実績調査と結果をフィードバックし、情報共有を行った。	【さぬき市】清掃活動を行う団体等に対し、ごみ袋の支給、清掃用具の貸し出し及びごみ回収の支援を行い、延べ約7,300人が環境美化活動に参加した。 【東かがわ市】拠点3か所でのボックス回収を実施し、回収及び周知を行った。 【土庄町】回収量1,050kg 【小豆島町】拠点2か所でのボックス回収を継続して実施。 【三木町】引き続き、町内2か所に小型家電回収ボックスを設置して回収する。 【直島町】ピックアップ回収年間総量9.7トン 【綾川町】回収量1,600kg （参考：R4年度1,900kg）
					64	不法投棄対策事業の推進	不法投棄撲滅ふれあいグリーン作戦参加者数	各市町が連携して地域住民及びボランティア参加のグリーン作戦を実施することで、地域の環境美化と不法投棄撲滅に対する意識啓発を図る。	人	1,000	0	0.0	毎年実施している不法投棄撲滅グリーン作戦の参加者数を目標値として設定している。しかしながら、R2からはすべてのグリーン作戦が新型コロナの影響により、中止になっているが、地域一斉清掃という形での地元による不法投棄対策は一定程度進んだ。	D	B	B	A	B	D	A	B	新型コロナの影響によりR2年度よりグリーン作戦を中止していたが、この間に地域一斉清掃等として行われるようになり、大規模で行うグリーン作戦は行われなくなった。 【さぬき市】清掃活動を行う団体等に対し、ごみ袋の支給、清掃用具の貸し出し及びごみ回収の支援を行い、延べ約7,300人が環境美化活動に参加した。 【東かがわ市】市環境美化促進員によるパトロール4回（3地区） 海岸・河川清掃を実施 不法投棄情報をHPに公開 ボランティアによる清掃活動支援 【土庄町】テレビ13台、冷蔵庫7台、洗濯機6台 町内ボランティア清掃団体12団体に対し、清掃ごみを回収する袋等を支給。 【小豆島町】情報交換＝1回/年 グリーン作戦等の行事は、それぞれの連携町が単独で実施。 不法投棄された廃棄物は町独自で処分。 【三木町】高松・三木出会い・ふれあいグリーン作戦を予定していたが、グリーン作戦実施予定地域住民が高齢化のため、中止した。今後についても、地域住民の高齢化のため事業は中止となった。 【直島町】町内一斉清掃”ごみ0”グリーンデー参加者約550名、回収4.0トン 8～2月（月2回）重点海岸漂着物等 回収延べ61名、回収1.64トン 町内不法投棄パトロールを24回実施 【綾川町】通年：グリーンボランティア美化事業 令和5年度実績 8団体 12回 通年：不法投棄場所への効果的な看板の設置を実施 5月綾川町グリーン作戦：実施 開催日は各自治会に日を決めて実施 排出されるごみは家庭ごみの定期収集の日にて回収 1月 エアポートグリーン作戦：今年度以降中止	

連携協約項目					事業 No	事業 （取組） 名	KPI（成果目標）						高 松 市	連携市町評価						令和5年度 高松市取組実績	令和5年度 連携市町の取組実績		
							KPI	KPI説明	単 位	令和5 年度 目標	令和5 年度 実績	達成 率		令和5年度の目標設定方法及び目標値に対する 実績の理由	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町			直 島 町	綾 川 町
3	圏域全体の生活関連機能サービスの向上	伊	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	(ア) 地域公共交通	65	ICカードを利用した公共交通利用促進事業【再掲】	公共交通利用促進事業実施自治体数	取組の目的は、I Cカード「I r u C a」を利用した公共交通利用促進事業を拡大することにより、公共交通の利便性を向上し、利用の促進を図るものであり、施策の参加自治体を増やす。	自治体	4	3	75.0	周知・情報共有などの準備期間であるため、現状維持を目標として設定した。 R5年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有し、事業を拡大する。	B	B		B	A	A	A	R5年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。	【さぬき市】ＪＲ四国各駅での利用・導入に係る検討状況等について協議した。 【土庄町】航路及び路線バスの利便性向上を図るため、バス及び航路で I Cカードが利用できる旨の周知広報及び運転免許証自主返納支援事業として I Cカードの発行を引き続き行った。 【小豆島町】「IluCa」及び「10カード」の利用継続。新紙幣に対応するためのシステム改修を実施。 【三木町】担当者間で事業促進の協議を行い、広報などでICカードの利用促進についてPRした。 【綾川町】ゴールドイルカ事業を継続実施。 セーフティルカ（70歳未満の運転免許証返納者）へのサービスも継続実施。	
					66	コミバス等へのIruCa導入事業	コミバス等へのIruCa導入事業参加自治体数	取組の目的は、I Cカード「I r u C a」による各種割引サービスの適用を受けることができるよう、コミバスにシステムを導入し、利便性の向上を図るものであり、施策の参加自治体数を増やす。	自治体	4	2	50.0	毎年1自治体追加することを目標として設定した。 R5年度も、連携自治体に対し、引き続き有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有した。	C	B		A	A	A	B	連携自治体に対し、令和5年度も引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。	【さぬき市】圏域内での活用状況等について協議し、コミュニティバス導入に係る費用対効果を検討した。 【土庄町】昨年度に引き続きIruCa運用を行った。 【小豆島町】「IluCa」及び「10カード」の利用継続。新紙幣に対応するためのシステム改修を実施。 【三木町】担当者間で事業促進の協議を行い、広報などでICカードの利用促進についてPRした。 【綾川町】綾川町地域公共交通計画の策定。	
					67	地域公共交通再編事業	圏域市町と高松市をアクセスするバス路線数	取組の目的は、連携市町と高松市間の公共交通によるアクセス手段を確保することにより、公共交通の利便性向上を図るものであり、自治体を繋ぐバス路線数を増やす。	路線	5	3	60.0	周知・情報共有などの準備期間であるため、現状維持を目標として設定した。 R5年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有し、事業を拡大する。	B	B	B			A	B	R5年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。	【再掲のため省略】	
				(イ) ICTインフラ整備	68	データ利活用型スマートシティ推進事業【再掲】	連携して収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	IoT共通プラットフォームを活用して、各市町と連携し、収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	分野	4	1	25.0	R6年度KPI目標を見据え、連携するデータ分野の拡大を目指し、R5年度目標を設定。R5年度は、新しいデータ分野の連携には至らず、R4年度の状況維持となった。	A	B	B	D	B	B	C	B	本市のIoT共通プラットフォーム（FIWARE）の共同利用について、綾川町と締結している協定に基づき、R2年度より防災分野において、水位計データや降水量データ等の共有・可視化等を実施している。（なお連携中枢都市圏以外で観音寺市とも共同利用を実施している。）	【さぬき市】事務局会での情報交換を行った。 【東かがわ市】瀬戸・たかまつネットワークの関係者による情報連携 【土庄町】実績なし。 【小豆島町】高松市との連携体制の構築。 【三木町】担当者間の調整を行った。 【直島町】運用コスト面など引き続き検討を行った。 【綾川町】出水期において避難指示を発令するような事例がなかったため、実績としては特にないが、水位監視と監視カメラは正常に稼働してる。
					69*1	校務支援システムの統一に向けた連携・推進	校務支援システム連携自治体数	高松市の校務支援システムの共同利用を実施している自治体数	自治体	0	0		R5年度、県が教育情報推進室を設置し、県内全域の校務支援システムの統一に向け、県が中心となって協議していくこととなった。	D						C		R6年度、県が教育情報化推進室を設置し、県内全域の校務支援システムの統一に向け、県が中心となって協議を進めることとなった。	【三木町】現状確認、今後の見直し等の情報共有を実施。
					69*2	校務支援システムの統一に向けた連携・推進	システム統一による業務削減時間数	高松市の校務支援システム導入後の共同利用による業務削減時間数	-	0	0		R5年度、県が教育情報推進室を設置し、県内全域の校務支援システムの統一に向け、県が中心となって協議していくこととなった。	D						C		R6年度、県が教育情報化推進室を設置し、県内全域の校務支援システムの統一に向け、県が中心となって協議を進めることとなった。	【再掲のため省略】

